

課題提出ノート (mMathNote) の注意

- 注1 各右 page には右上に, 左 page には左上に, **通しの page 番号** (1 ~ 28) を記入する. **2 冊目以降**を使用するとき は, 通し番号 (29 page から続けて) を記入する.
- 注2 下記に宿題の課された**講義日付**を記入. 下記の表の太枠に mMathNote の**どの page** に解答を書いたかを記入.
- 注3 **問題文**を書くこと.
- 注4 解答に至る過程がわかる様に**途中の式**を書くこと.
- 注5 途中に言葉を入れて全体を**文章に仕上げる**.
 「...とおく。」 「...となる。」 「したがって...」
 「...を使って...」 「...に...を代入すると...」
 「...と仮定すると...」 「...が成り立つ。」

- 注6 **何が結論か**を明確にする. 特に**最終的な答**がどれかわかる様にする.
- 注7 解答を整理し, **丁寧な字**で書く. (解答に関係ないものは消す)
- 注8 **答え**をして, 間違いを訂正しておく.
- 注9 わからない場合は誰にでもある. その場合は**質問を書く**. わかったらそのままにせず, 早めに仕上げること.
- 注10 質問を書いた page には**付箋**を貼っておく.
- 注11 別紙の解答の場合は必ず**糊付け**しておく.
- 注12 メモなど課題提出に無関係なものを**挟んでおかない**こと.
- 注13 **遠慮なく質問**すること.

講義日付を記入

回	講義日付	check	備考
1	/		
2	/		
3	/		
4	/		
5	/		
6	/		
7	/		
8	/		
9	/		
10	/		
11	/		
12	/		
13	/		
14	/		
15	/		

太枠の空欄には解答を記載した mMathNote の page を記入

問題 1.2[A]												
1									2 (収束するかどうか調べよ)			
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(1)	(2)	(3)	

1.2[B]			
1			
(1)	(2)	(3)	(4)

1.3[A]								
1			2		3			
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(1)	(2)	(3)

1.3[B]		
1	2	3

1.4[A]								
1		2		3	4			
(1)	(2)	(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)

1.4[B]	
1	2

1.5[A]													
1					2								
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
					3			4					
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)			

1.5[A], 2(9)と3(5)は1.7[A]の所でやる

1.5[B]			
1		2	
(1)	(2)	(3)	X

1.6[A]							
1		2	3	4	5		
(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(1)	(2)

1.6[B]	
1	2
X	X

1.7[A]																	
1					2				3								
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(1)	(2)	(3)

1.7[B]	
(1)	(2)

1.8[A]							
1	2	3					
(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(1)	(2)	(3)

プリント 1		
練習 2	練習 7	
(1)	(2)	(3)

1.8[B]
1

1.9[A]															
1				2				3			4				
(1)	(2)	(3)	(4)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)

1.9[B]				
1	2			
(1)	(2)	(1)	(2)	(3)

1.10[A]															
1			2			3									
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
				4			5			6					
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)				

1.10[B]	
1	2

1.12[A]													
1			2										
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

Taylor の定理
n=4

1.12[B]

3								
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)

1.13[A]				
1		2	3	
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

1.13[B]				
1		2		
(1)	(2)	(3)	(1)	(2)

1.14[A]							
1				2			
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(1)	(2)

1.14[B]
1

1.15[A]									
1			2		3	4			
(1)	(2)	(3)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(1)	(2)

1.15[B]
1